

はなみずき

2026年(令和 8年) 8月号

ホーム喫茶

麻布慶福苑では、ホーム喫茶というイベントを月に2回程度開催しています。

二週目の日曜日を3階、四週目の日曜日を2階のご入居者を対象として、ボランティアの方と一緒に、希望された方々が二ヶ月に一度は参加できるように実施しています。

皆さんは喫茶店に行くと食べる決まったものはありますか。

必ずモンブランを召し上がる方、それを見て影響されてモンブランの方、苑では少数派の飲み物は紅茶の方…。



場所は普段と一緒にですがテーブルクロスを敷き、花を飾って音楽で迎えいています。ご参加して頂くと気分が変わるのか、召し上がった後も花をご覧になりながら会話が弾んでいるグループもあります。

二か月に一度ですが、いつもとは違った気分で、ご自身の好きなケーキや飲み物を選ぶ時間を、これからも職員一同大切にしていきたいです。

喫茶担当

『お食事会について』

麻布慶福苑では、利用者の皆さまに日々の生活の中で小さな楽しみや変化を感じていただけるよう、さまざまな施設行事、日々のクラブ活動の取り組みを行っています。

その一環として、希望がある一部の方に今半のすき焼き、野田岩のうな重、さらに10月から3月までの期間は阿部寿司のお寿司の出前を取り、月に数回お食事会を開催しています。

普段の食事とは異なり、ご自身で好きなメニューを選び、料理を味わって頂いていきます。

「どれにしようかな」と迷いながらも楽しそうに選ばれていました。

テーブルには湯気と食欲をそそる香りが広がり、

「久しぶりに食べたけれど、やっぱりおいしいね」

「この味が好きなんだよ」

といった声が聞こえ、普段よりも会話が弾み、笑顔が自然とこぼれる様子が印象的です。

「次は何を頼もうか」と次回の開催を楽しみにする声も多く聞かれています。

今回ご紹介したお食事会は、単に食事を楽しむだけでなく、利用者の皆さまにとって生活の質を高める大切な時間であると私たちは考えています。

好きな料理を選び、出来立ての味を楽しみながら、会話が弾み、笑顔が広がるそのひとときが、日々の暮らしに活力をもたらしてくれます。

今後も、季節ごとの行事や利用者の皆さまの希望に寄り添いながら、日常に彩りを添える取り組みを続けていきたいと思えます。

生活相談員



はなみずき

2026年(令和 8年) 8月号

七夕行事を振り返って

七夕の短冊を入居者様お一人お一人の言葉で書いて下さいました。

どの短冊も個性溢れる言葉で埋め尽くされておりました。「長生きしたい」「元気でいたい」などなど。

一生懸命短冊をご自身の言葉で書いて下さいましたが、その願いが届かず、七夕の日を迎える事が出来なかった方もおられ、今年の七夕は感慨深いものとなりました

七夕担当



お盆の行事 〈迎え火・送り火〉

七月十三日に迎え火を行い、七月十六日に送り火をしました。

どちらの日も湿気があり暑かったですが、

ご入居者様には、ほぼ全員参加していただきました。

施設の玄関前でおがらを焚き、その煙をみて懐かしみながら手を合わせ拝む方もいらつしやいました。

まだ入居して間もない方から

「ここではこのような事までしてくるのですね。」

「いまは家でもなかなかしないですからね。」

と話されていました。

このように、なかなか外に出る機会が少ないため

「暑いけど気持ちいいね。」

とおっしゃる方もいらつしやいました。

心の中でお祈りをして慶福苑で退所された方達や、ご自身のご先祖様をお迎えし、お送り致しました。

火を使う行事なので、入居者の方で火傷など怪我をせずに無事に終えた事が幸いでした。

お盆担当



イベント情報

9月10日(木) アニマルセラピー

14:30

9月21日(月) 敬老会(午後)

ご家族の方もご参加いただけます

9月25日(金) お月見(花火大会も開催予定)

クラブ活動情報

月曜日 散歩クラブ

火曜日 足湯クラブ

水曜日 音楽療法※希望者のみ

木曜日 絵手紙クラブ(隔週)

金曜日 陶芸クラブ

土曜日 習字・塗り絵・貼り絵クラブ

■美容カッタ

第3月曜日・第4火曜日

ご希望等、ご連絡お待ちしております。

発行者

社会福祉法人

恩賜財団慶福育児会

特別養護老人ホーム

麻布慶福苑

〒106-0047

東京都港区南麻布5-1-20

TEL 03-3446-5501

[http://www](http://www.azabukeihukuen.com)

[azabukeihukuen.com](http://www.azabukeihukuen.com)

皆様からのご意見・ご感想

をお寄せ下さい。

お待ちしております